

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	脳底動脈閉塞症における錐体路症状と再灌流療法についての単施設後方視的研究 (B21-267)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部脳神経内科学 講師 阿久津二夫
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	脳底動脈閉塞症は重症で高度の意識障害・四肢麻痺から眩暈のみのような軽症まで様々な症状を呈することが知られています。脳底動脈閉塞症患者において、唯一の治療法は機械的血栓回収療法ですが、未だその有効性は証明されていません。このため脳底動脈閉塞症患者の錐体路徴候に着目して、機械的血栓回収療法後の予後に差が生じるかどうかを検討します。
調査データ 該当期間	2014年3月1日～2021年12月30日
対象となる患者さま	2014年3月1日～2021年9月30日の間に脳底動脈閉塞症で当院に入院された患者さま
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2014年3月1日から2021年12月30日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。具体的には、発症時の年齢、性別、臨床診断、頭部CT・MR画像、脳血流SPECT、血液および血清検査所見、治療内容、神経学的所見、重篤な合併症の有無、臨床経過、入院時、退院時および最終受診時の機能予後を収集します。
試料/情報の他の研究機関 への提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。資金源として医学部脳神経内科学の一般研究費の一部を使用します。利益相反については北里大学利益相反委員会で審査され適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また将来別の研究に利用する可能性があり、その際はあらためて研究倫理審査を受け、拒否の機会を提供します。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：脳神経内科学 講師 担当者(フリガナ)：阿久津二夫 (アクツツギオ) 電話：042-778-8136
備考	二次利用の可能性に関して：二次利用の可能性があるため、試料・情報は研究終了後も保管を継続します。新たな研究を行う際には、その内容を含む計画書を別途作成し、倫理審査を経たうえで実施します。

